

# 地域連携パス運用のフロー図と役割

(22/12/10)

**地域連携パスの運用開始前に、医師会での説明会と参加意志の確認を行う**  
 連携医療機関に、説明書など必要書類を送付し、地域連携パスの運用に付き説明を行う

**[入院前]**パス適応対象患者に、パス説明文(地域連携パスのご案内)を渡す (担当:外来看護師)

**[入院]**地域連携の可能性の把握と希望の確認  
 i 治療方針決定後に適宜、患者の意向を確認する。(担当:医師)  
 ii 連携ノートの内容について簡単な説明をする。(担当:看護師)

i 患者の希望に合わせて連携先を検討する  
(原則として紹介元医師に連携する)  
 診療情報提供書を作成 (医師、地域医療連携担当)  
 ii 様式1を作成し、医療情報提供書を合わせて地域医療連携室へ提出する。(担当:病棟看護師)

地域医療連携室は、[様式1]を受け、連携診療(地域連携パス運用)を打診  
 ※様式1及びがん連携用診療情報提供書をFAX送信 (担当:地域連携担当者)

連携医療機関は、連携依頼(様式1)の受信と受入の可否についての回答を病院へFAX (担当:連携医療機関)

連携医療機関から[受入の可否](様式1の返信)の回答を受信 (担当:地域連携担当者)

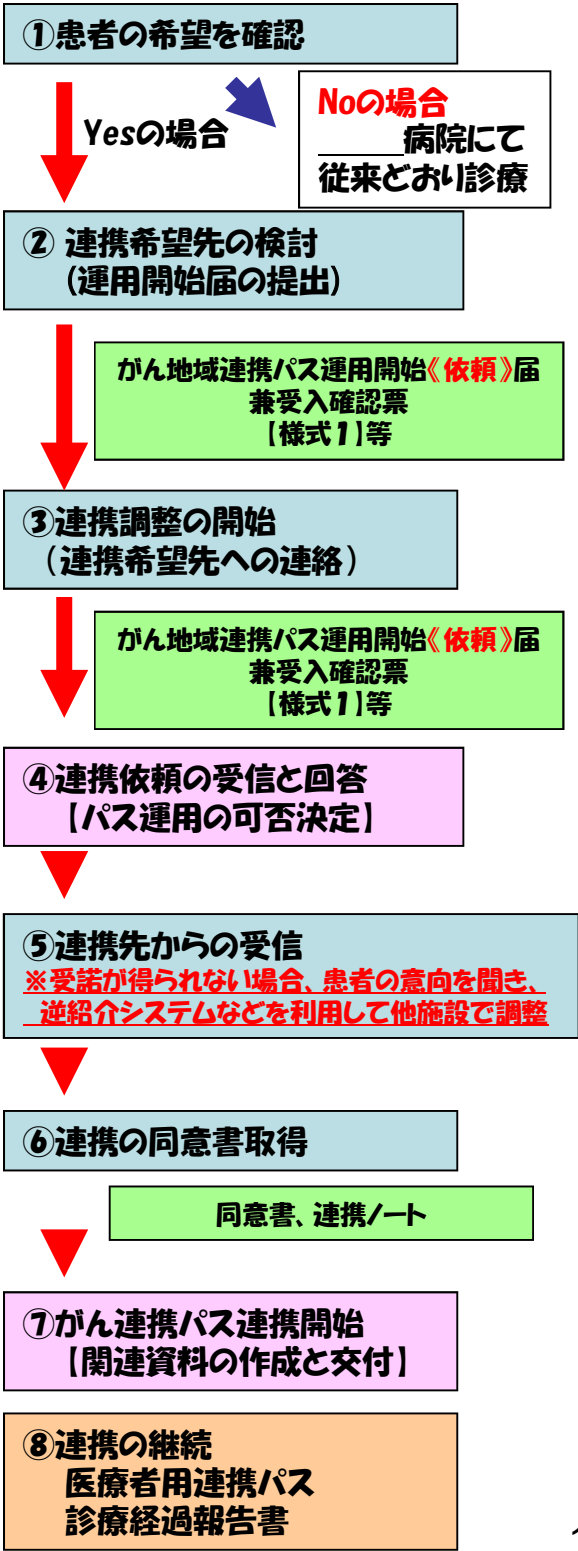
患者から連携(パス)の同意書を取得  
 \* 連携ノートの具体的使用方法の説明 (担当:拠点病院等の医師/看護師)

**[退院]**可能であれば退院前カンファレンスへの参加要請  
 がん地域連携パス(共同診療計画書)に沿って医療連携を開始

連携担当者からの質問、相談の窓口 (地域医療連携室)  
 連携先で対応困難な場合の緊急受け入れ

兵庫県立がんセンター

連携医療機関



## 地域連携パス運用のフロー図(逸脱の場合)

※逸脱があった場合

1. 再発、再燃による治療方針の変更
2. 転出
3. 死亡
4. 本人希望
5. その他

兵庫県立がんセンター

連携医療機関

### 逸 脱

かかりつけ医で逸脱

がんセンターで逸脱

※1 がん連携パス逸脱届【様式2】  
及び診療情報提供書



パス逸脱届を受理  
(地域医療連携室等)

※1 がん連携パス逸脱届【様式2】  
及び診療情報提供書

### 逸脱の報告

がんセンター外来担当医

かかりつけ医



兵庫県立がんセンター  
終了または治療方針変更し継続治療